

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

		整理番号	4
事業名	議会だよりの発行	予算科目	会計 一般会計・1
担当部課名	議会事務局		款 議会費・1款
電話	0799 - 43 - 5005		項 議会費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目 議会費・1目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱		
	まちづくりの目標		
	施策目標		
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託
			負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		市民(対象人数:平成22年3月末現在)	対象人数(人)
			52,012
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	
		議会広報を発行することにより、市民が議会活動状況を周知し、市議会や市政に対する理解を深めてもらう。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)	
		年4回の定例会があった翌々月の1日に議会だよりを発行する。2万部印刷。新聞折込で市内各戸に配布。沼島地区のみ町内会による配布。市の窓口にも設置する。表紙・裏表紙はカラー刷り、その他のページは2色刷り。平均ページ数は20ページ。編集にあたっては、議員による議会広報広聴特別委員会(定数6名)を組織して、企画、編集作業を行っている。作業の流れとして、本会議終了後、第1回目の委員会を開催。ここで紙面構成、役割分担を行う。第2回目の委員会で集まった原稿を校正、レイアウト調整等を行う。これを受けて印刷業者が組み版。できあがったグラ刷りを第3回目の委員会で校正作業を行う。印刷業者の指定には、見積入札により選定している。事務局は委員会の補助的な役割で従事している。	
背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向)		
	地方自治法115条で「議会の会議は、これを公開する」という規定があり、議事公開の原則を明らかにしている。議事の公開は、議会が住民の代表機関であることからして、住民の意思がいかんにかんにかん議会に反映しているかを広く住民に知らせている。会議録も同様に公開しているが、市民により分かりやすく伝えるため、議会だよりにては、会議の要点、論点を簡潔まとめている。		
事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 民間・その他 ()	
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 22 年度	~ 平成 22 年度	<input type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前におけるの事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町	<input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町	<input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町
	<input type="checkbox"/> 旧広域事務組合	<input type="checkbox"/> 新市から	
	4町全て発行しており、合併後も発行することを調整済み。		

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	発行回数					指標単位
							回
	指標説明 (指標算出 方法等)	定例会ごとに発行している。また必要に応じて臨時号を発行する。					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標値	4	4	4	4	4	
	実績値	4	4	5			
	達成度 (%)	100.0	100.0	125.0	-	-	
	目標値設定 の考え方	条例で定例会を年4回と定めている。					
資源配分 (インプット)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	直接事業費 (千円)	3,785	3,686	3,307	3,743	3,736	
	報償費(沼島町内会、広報配布)	30	20	20	20	20	
	旅費(視察研修随員)	25	17	2	30	30	
	旅費(視察研修議員)	58	48	7	105	105	
	需用費(印刷製本費)	2,444	2,373	1,881	2,015	2,018	
	役務費(折込手数料)	1,228	1,228	1,397	1,573	1,563	
	財 源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	3,785	3,686	3,307	3,743	3,736	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	1,806	1,674	1,692	1,644	1,644	
	平均人件費(1日当り)	30.1	27.9	28.2	27.4	27.4	
	事業量1(事業に要した日数)	30	30	30	30	30	
事業量2(事業に要した人数)	2	2	2	2	2		
年間経費([A]+[B])	5,591	5,360	4,999	5,387	5,380		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	107.5	103.1	96.1	103.6	103.4		
経費に関する 補足説明	ページ数により印刷経費、折込手数料は増減する。印刷業者は、毎年見積入札により選定している 平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
達成度	目標達成度	%	100.0	100.0	125.0	-	-	
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 市民が理解しやすいよう、お役所言葉や専門用語を分かりやすい言葉に書き直したり、文章を短く切ったりしている。また、大見出し小見出しを使い分け、写真・イラストなど取り入れ、見やすいレイアウトに工夫した。しかし、詳しく書かないと誤解を招いたり、理解できなかつたりする事柄も多く、取捨選択が難しい。これらのことから毎年1回、委員会で先進地を視察し、より見やすい・分かりやすい紙面に向けて調査研究を行っている。						自己評価 (5点)	4
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 発行後、市民からのクレームや質問などは、事務局にほとんどない。議員や職員の個人的につながりのある方々からは、概ね満足していただいているような反応のようであるが、正確な満足度はつかめていない。						自己評価 (5点)	4
	事業単価	円	107.5	103.1	96.1	103.6	103.4	
効率性	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 編集のための委員会を立ち上げ、議員で企画、編集、校正作業を行っている。原稿執筆、写真撮影も議員自身が行っている。事務局職員はその補佐を行っている。また、紙面に限りがあるため、広報紙に紹介しきれない情報はホームページに掲載している。広報紙にホームページ案内の記事も毎月掲載している。						自己評価 (5点)	4
	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低				
必要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 地方自治法115条で「議会の会議は、これを公開する」という規定があり、議事公開の原則を明らかにしている。議事の公開は、議会が住民の代表機関であることからして、住民の意思がいかに議会に反映しているかを広く住民に知らせている。会議録も同様に公開しているが、市民により分かりやすく伝えるため、議会だよりでは、会議の要点、論点を簡潔にまとめている。						自己評価 (5点)	4
	総合評価	自己評価をふまえた現状分析 限りある紙面の中で、どの情報を掲載するのか。取捨選択しながら委員会で協議している。また読みやすくするための工夫などについて調査研究を怠らず、先進地調査も行っている。しかし、実際に配布された市民からの意見調査も行う必要があるのではないかと感じる。		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">評価グラフ</p></div>				

V Action & Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>議会だよりで、市民が知りたい情報を提供できているのか等の市民満足度の調査について、議会広報広聴特別委員会に対応を協議していきたい。</p>	<p>同左。</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>市の広報媒体として、広報紙、ホームページ、ケーブルテレビなどがあるが、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層に目に触れる機会を提供できるのは、広報紙が最も有効であると考えている。ケーブルテレビは番組枠という制限があるなかで、現在、一般質問のみを録画配信している。それだけでは条例制定の理由説明や委員会審査、表決など、議会の最も本質的、基本的な意義のある「議決権」が見えてこない。市ホームページには、会議録等を公開しているが、市ホームページを閲覧に来る人は限られている。</p>	